

# 大麦管理情報 第2号

**「大麦栽培は、排水に始まり、排水で終わる！」をモットーに、排水対策を徹底し、年内生育を確保しましょう！**

## 1. 排水溝の手直し

播種時期は一部で遅くなりましたが、9月下旬～10月上旬に播種されたほ場では、苗立ち・生育は概ね順調です。

今後、冬に向けて徐々に雨の日が増加します。

天候のよい今のうちに溝の手直しを行いましょ



◎排水対策チェックシート（全てにチェックが付くようにしましょう！）



チェック欄	チェック項目
<input type="checkbox"/>	排水溝は、 <u>額縁排水溝と繋がっている。</u>
<input type="checkbox"/>	排水溝が崩れて <u>詰まっているところがない。</u>
<input type="checkbox"/>	<u>排水口の手前が深く掘り下げてあり、</u> また、 <u>水吐板が外してある。</u>
<input type="checkbox"/>	暗渠のあるほ場は、 <u>暗渠栓を外してある。</u>

まとまった降雨後に、水が溜まることはありませんか？

**栽培期間にかけて機能する排水溝は、「莖数確保＝増収」の必須条件です！**

## 2. 年内追肥の実施

基肥がBB特15号の分施肥体系の場合は、は種1ヶ月後を目安に追肥を行いましょ

追肥時期	肥料名	施用量
は種1ヶ月後	硫安	20kg/10a

※ ただし、苗立ち数が多いほ場(200本/m以上)では、減肥を行ってください。

※ 基肥がLP大麦48号の一発体系では、原則追肥の必要はありません。